

## 第41回勝山市地域公共交通会議 第25回勝山市生活交通地域協議会 会議録

1. 開催日時 : 令和4年12月8日(木) 午前10時～
2. 開催場所 : WEB会議、市役所3階第1会議室
3. 出席委員 : 下記のとおり※敬称略
4. 欠席委員 : 3名(下記備考のとおり)
5. 傍聴人数 : なし

区分	所属団体及び役職等	氏名	備考
学識経験者	福井大学 教授	野嶋 慎二	
関係機関	福井運輸支局 首席運輸企画専門官	五十嵐 重晃	
	福井県地域戦略部 交通まちづくり課長	堤 宗和	代理：廣瀬 貴之 参事
	奥越土木事務所 勝山道路課技術次長	橋本 盛夫	欠席
	勝山警察署 交通課長	高木 省吾	欠席
	勝山市区長連合会 会長	杉平 信夫	
	勝山市高齢者連合会 代表	松下 文男	欠席
	勝山市民生委員児童委員協議会 会長	松田 敏男	
	えちぜん鉄道株式会社 取締役 営業開発部長	佐々木 大二郎	代理：長谷川 淳一 運輸部長
	京福バス株式会社 経営推進室 地域交通グループ 経営管理部長	松田 康弘	
	勝山交通株式会社 代表取締役社長	山内 誠司	
	大福交通有限会社 代表取締役	中村 雅彦	
	福井県交通運輸産業労働組合協議会	前川 剛	
市職員	副市長	小沢 英治	
	政策幹	伊藤 寿康	
	技幹	木下 秀樹	代理：木下 大史 営繕課長
	福祉政策幹	西 美智子	
	教育委員会事務局長	北川 昭彦	
	商工文化課長	畑中 健徳	代理：須見 大二郎 係長
事務局	未来創造課 課長	谷内 英之	
	未来創造課 課長補佐	岩岡 貴央	
	未来創造課 地域交通係長	廣田 篤史	
	未来創造課 主事	西村 駿人	

## 第41回勝山市地域公共交通会議

### 1. 開会

### 2. 会長挨拶・座長選出

(福井大学 野嶋教授が座長に選出)

### 3. 協議事項

#### (1) 市内コミュニティバスのフルデマンド化について【資料1】

資料1の1ページをご覧ください。

まず、フルデマンド型運行導入の経緯ですが、地域公共交通策定のために、令和3年9月に実施したアンケートで運行本数について不満を感じている方が半数を超えていたことから「誰もが利用しやすい、利用しなくなる公共交通ネットワークを目指す」としています。

具体的には「利用者の少ない日中は市全域をデマンド交通へと再編する」としています。市全域でのフルデマンド化に向けて令和4年度は2地区で運行開始することとしており、北郷地区と野向地区で運行開始したいと考えております。

次に2フルデマンドバスとはということですが、通常バスと言うと決まった時間に決まった路線を走行し、決まったバス停留所に停まる運行をイメージしますが、フルデマンドバスはこのダイヤ、路線を設定せずに、利用者の予約に応じてバス停間を運行する乗合交通のことです。

次のページから北郷地区、野向地区それぞれご説明申し上げますが、あらかじめ設定した停留所間を予約状況により運行するため、これまでより効率よく移動することができます。

よって、3フルデマンドバスの利点にありますとおり、これまで運行していなかった時間でも予約することが可能となり、特に郊外部の運行便数の少なさをカバーでき、希望の時間帯に利用できるようになります。

また、予約のないバス停留所には停車しないため、スムーズに移動することができます。さらに市内全域をフルデマンド化すると、どのように運行エリアを設定するかにもよりますが、同一運行エリア内であれば地区外の目的地にも最短ルートでの移動が可能となります。

その他にも、運行システムの導入により誰がどこで乗ってどこで降りたかなど詳細なデータが蓄積され、分析が可能となります。

次に北郷地区及び野向地区におけるフルデマンド運行の概要ですが、運行車両は現在使用している車両をそのまま使用します。運行時間は8時から17時までで、8時前及び17時以降については、通勤通学での利用が多いことから、これまでと同様に定時定路線で運行いたします。

運賃についてはこれまでと同様で100円または200円とし、定期券や各種割引なども同様とします。新たに設置するバス停留所についても後のページに資料をつけておりますが、これまでの運賃表に合わせて設定しております。

運行区域についても後に資料がついておりますが、各地区内のバス停留所、地区外は現在運行しているバス停留所とします。

なお、北郷地区については利用者の利便性向上のため、永平寺町の越前竹原駅にもバス停を設置いたします。

また、運行事業者への予約については1時間前までに電話で予約していただくこととなります。

次に2ページをご覧ください。北郷地区のデマンドバスの運行区域図です。地図上の赤い丸が既存のバス停留所、青い丸が新設するバス停留所です。

また、バス停留所の新設に伴いまして、下線をつけてある既存のバス停留所についても一部名称を変更します。北郷地区については記載してあるバス停間を予約に応じて運行することとなります。

次に3ページですが、時刻表のイメージです。8時前の上りの2便及び17時以降の下りの2便についてはこれまでと同様の運行を行い、間の8時から17時までの間は予約に応じて運行するようになります。

次に4ページですが、運賃表になります。既存のバス停についてはこれまでと変更ありません。新設のバス停留所については黄色の欄ですが、これまでのバス停留所の運賃に合わせて設定いたします。

次に5ページをご覧ください。野向地区の運行区域図です。地図上の赤い丸が既存のバス停留所、青い丸が新設するバス停留所、緑色の丸が位置を変更をするバス停留所です。また、バス停留所の新設・移動に伴いまして、下線をつけてある既存のバス停留所についても一部名称を変更します。野向地区についても記載してあるバス停間を予約に応じて運行することとなります。

次に6ページをご覧ください。現在の野向線の主な利用者は中部中学校に通学する生徒であることから、利便性向上のため中部中学校前に停車する経路に変更いたします。

地図上の赤い丸が停車するバス停留所になります。これまでは27. 農協会館前の後、同じ県道沿いにある林設備さんの前の郡バス停留所、30. 村岡公民館の順に運行していましたが、郡のバス停をエネオスのある交差点の南側に移動し、28. 郡、29中部中学校前、30. 村岡公民館の順に停車します。

ダイヤについては上りが黒原から1分ずつ繰り上げて、村岡公民館ではこれまでと同じ時間に運行します。下りについては中部中学校前18時2分に停車後1分ずつ繰り下がることとなります。

次に7ページですが、時刻表のイメージです。8時前の上りの1便及び17時以降の下りの1便については一部経路を変更いたしますが、これまでと同様の運行を行い、間の8時から17時までの間は予約に応じて運行するようになります。

次に8ページですが、運賃表になります。既存のバス停についてはこれまでと変更ありません。新設のバス停留所については黄色の欄ですが、北郷同様これまでのバス停留所の運賃に合わせて設定いたします。

北郷地区、野向地区2地区をフルデマンド化し、運行状況を分析していく中で、より多く

の方に利用していただけるよう、見直しを行っていきたいと考えております。また、市内全域に拡大するにあたって、2地区での先行事例を踏まえ、より便利に、よりスムーズに運行できるようにしていきたいと考えております。

●野嶋座長

今の事務局からの説明に対しまして、質問等がありましたらお願いします。

●勝山市区長連合会 杉平会長

フルデマンドということで説明がございましたが、一番良いのは自分の自宅の前まで来てもらう本当のフルデマンド方式ということになるのかなと思います。

電話で家の前までなんとかお願いしますという声があれば、そういう対応が可能なのかどうか教えてください。

○事務局 廣田係長

フルデマンド化に際しドア to ドアでの送迎というのは、当然検討させていただきました。しかしながら、今現在勝山市におきましてもタクシーが走っているということもありまして、タクシーとバスが共存していくことを目的に、バス停留所間の運行という風に考えています。

今回のバス停留所につきましても、地区の方と協議いたしまして、今までよりも細かく設定しています。今までは遠い人だと大体300m歩かないとバス停につかない人がいたのですが、今回はそれよりも短く150mの位置に新規バス停を設置予定ですので、ご理解のほどよろしくお願いいたします。

●野嶋座長

事務局より提案のありました市内コミュニティバスのフルデマンド化についてはよろしいでしょうか。

(承認)

ありがとうございました。

#### 4. その他

○事務局 廣田係長

事務局のほうから補足説明ですが、今回フルデマンド化につきましては、公共交通会議にてお認めいただけましたので、運行事業者さんの方で、運輸支局の方への変更申請の手続きに入らせていただきます。

その後一か月程度の審査期間がございますので、1月下旬の運行開始を目指して進めておりますのでよろしくお願いいたします。以上でございます。

## 第24回勝山市生活交通地域協議会

### 1. 協議事項

#### (1) 令和5年度生活交通確保維持改善計画の変更について【資料2】

本計画につきましては、今年度第1回目の協議会にて、ご協議いただいた上で事務局から申請をさせていただき、9月28日付認定をいただいております。

本計画では北郷予約便及び平泉寺・猪野瀬予約便について記載しておりますが、先ほど交通会議でご協議いただきましたとおり、北郷予約便のフルデマンド運行を実施させていただくということで、一部計画の変更が必要なことから、本会で諮らせていただきたく存じます。

全体の内容につきましては、計画申請の協議の際にご覧いただいているかと思っておりますので、変更点を主に説明させていただきます。

1ページをご覧ください。変更日につきましては、正確な日時が確定次第記載させていただきます。

変更箇所につきましては、先ほど申し上げましたとおり、日中の北郷予約便をデマンド運行とする旨記載しております。

変更理由につきましては、運行本数をカバーし利用者のニーズに応じた運行とするためです。

10ページをご覧ください。先ほどの交通会議でもご説明しましたとおり、日中の運行をデマンド運行とし、一部バス停の新設及び移設を実施いたしますので、新旧の時刻表を記載させていただきます。

11ページにつきましては、具体的な区域運行図について記載をさせていただきます。こちらも先ほど交通会議でお示しさせていただいた内容となっております。

15ページをご覧ください。令和5年度事業は令和4年10月1日開始、令和5年9月30日締めとなっておりますので、10月1日から完全デマンド運行に移行するまでの翌年1月下旬までの期間については、路線定期運行、区域運行のハイブリッドとなります。ここでは仮に1月25日から運行形態を移行した場合の、それぞれの計画運行回数を試算し記載しております。

また、16ページにつきましては、今回の運行形態の変更とは直接関係がございませんが、勝山市が過疎地域指定となったことで、補助金額の算定に用いる人口の数値として、交通不便地域等の人口を記載可能とのご指摘をいただきまして、修正をさせていただきました。今回のタイミングであわせて修正させていただきます。

#### ●野嶋座長

それでは、事務局からの説明に対しまして、質問・意見等がありましたら、お願いします。  
(質問・意見なし)

事務局より提案のありました令和5年度生活交通確保維持改善計画の変更についてはよろしいでしょうか。

(承認)

ありがとうございました。

## (2) 令和4年度勝山市生活交通確保維持改善計画の自己評価【資料3】

先ほどは令和5年度の事業計画についてご説明申し上げましたが、こちらは令和4年度の事業についてのご説明となります。令和4年度の事業期間は令和3年10月1日～令和4年9月30日までとなっております。事業期間終了後、自己評価を実施し、中部運輸局へと提出することとなっております。

1ページをご覧ください。対象事業者及び路線は、表の左側①②欄に記載しております。勝山交通様の北郷予約便及び大福交通様の平泉寺・猪野瀬予約便となっております。

表の③をご覧ください。前回の事業評価結果の反映状況ということで、こちらは今現在実施しております自己評価とは別に、第三者評価委員会という場で二次評価をいただくことになっておりまして、そちらでご指摘いただいた事項に対する事業の実施状況を記載しております。

まず1点目が幹線系統勝山大野線の利用促進や系統維持に向けて、県や各関係者とともに連携しながら取組を実施することということで、まず当市で実施しております高齢者運転免許自主変更事業ですが、こちらについては免許返納をされた65歳以上の高齢者の方に対してバスの無料券を交付する事業で、当初は市内コミュニティバスのみ対象となっていたところ、京福バス様と連携をさせていただきまして、勝山大野線につきましても、令和2年4月から市内の乗降につきましては無料乗車の対象となりました。

また、昨年度単年度のみ実施予定の事業でありました、バスタクシー利用券配布事業につきましても、高齢者の対象範囲を65歳から60歳まで引き下げた上で、今年度も実施をしました。事業の内容については、高齢者や妊産婦、障がい者の方を対象に、100円40枚綴り計4,000円分のバスタクシー利用券を配布するというもので、ワクチン接種や通院、買い物等に公共交通を利用してもらう取組を実施しております。

次に2点目については、勝山と大野の観光地を結ぶバスの試験運行結果について、きちんと検証し、今後の取組に反映することということで、こちらは今年度の夏と秋に、勝山駅・平泉寺神社・越前大野駅を繋ぐ「勝山大野観光ライン」というバスを試験運行しておりました。利用状況等については、定期的に観光担当部署と情報共有し、打ち合わせ等を実施しております。具体案としまして何か今この場ですぐお示しできるものはございませんが、今後の交通施策実施にあたりましては、十分参考とさせていただきたいと考えております。

続いて④事業実施の適切性ということで、未だ新型コロナウイルス感染拡大の影響が続き、利用者数は低下しておりますが、計画どおり事業は適切に実施できている。と判断しております。

また⑤目標・効果達成状況につきましても、北郷予約便については、利用者数が4,912人となっており、目標値である4,300人を超えることができました。また昨年度より615人利用者が増加しました。

平泉寺・猪野瀬予約便につきましても、利用者数は3,271人となっており、目標値

である6, 150人を大きく下回る結果となりましたが、昨年度より258人増加しました。こちらについては、観光地や福祉施設を経由する路線となっておりますので、コロナウイルスの影響で利用者が減少していることによるものと考えております。

⑥の事業の今後の改善点ということで、これはどちらの路線にも言えることですが、未だコロナ以前の水準には回復していないため、今後も利用しやすい公共交通の実現を目指した取組を実施する必要があります。

具体的には公共交通アンケートの際に、運行便数に不満を感じていらっしゃる方が半数以上いらっしゃったことから、通勤通学利用の多い朝夕の便を除き、日中の時間帯のデマンド運行を実施するというものです。先ほども申し上げましたが、まず今年度は北郷地区及び野向地区でのフルデマンド運行を開始し、徐々に各路線の再編を実施していきたいと考えております。

続いて2ページをご覧ください。事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連についてということで、地域の交通の目指す姿を記載しております。令和4年3月に策定した勝山市地域公共交通計画では、基本方針として「誰もが利用しやすい、利用したくなる公共交通ネットワークづくり」を掲げており、公共交通を利用したい人が利用したい時に気軽に安心して利用できるように、また、クルマに頼らなくても暮らしやすい、快適に移動できる公共交通ネットワークを目指しております。

そのため、各地区および利用者のニーズを把握し、高齢者等、車を運転できない交通弱者が利用しやすいバス体系の整備を図ります。また、えちぜん鉄道や路線バス、コミュニティバスなどの利用を促進し、地域の実情に応じたきめ細かな生活交通環境の整備を図ります。

えちぜん鉄道交通圏地域公共交通網形成計画においては、車に頼り過ぎなくとも暮らしやすいまちづくりや、周遊性の高い魅力ある広域観光のまちづくりを目指すため、えちぜん鉄道と路線バスや地域密着型のコミュニティバス等が連携し、公共交通網をネットワーク化します。としています。

また、補足としまして説明の際に何度か第三者評価委員会という言葉が出てきたかと思いますが、こちらは先ほどからご協議いただいております改善計画の内容等につきまして、中部運輸局や大学の先生、有識者の方等を交えまして各市町の事業の実施内容等につきまして評価をいただく場でございます。

良かった点悪かった点と色々な内容を審議いただきまして評価いただく場となっております。毎年度実施しております改善計画にも、委員会の評価を反映させて事業を実施していく、そういったものが第三者評価委員会ということでございます。

#### ●野嶋座長

それでは、事務局からの説明に対しまして、質問・意見等がありましたら、お願いします。

#### ●勝山市区長連合会 杉平会長

サンプラザ前の京福バスのバス停が、片方はきちんとサンプラザ前にあるんですが、もう

片方が深谷病院辺りまで下がっているのですが、分かりづらいかと思います。バス停の位置をずらすか、名前を変えるなどした方が良いのではないかと思います。

○事務局 廣田

バス停の位置については、法律上交差点等から離れた位置に設置する必要があるなどの理由で現在の位置になっています。その関係上、どうしても上り下りで道を挟んで真向いに設置することが出来ない場合もありますので、ご了承いただけますと幸いです。

しかし、当該バス停については京福バス様と確認させていただきます。

●勝山市民生委員児童委員協議会 松田会長

目標値については、北郷予約便については妥当な数値に思えますが、平泉寺・猪野瀬予約便については大きく離れているのは何か理由があるのでしょうか。

○事務局 西村

平泉寺・猪野瀬予約便については、観光・福祉施設を経由する路線となっており、コロナの影響を特に受けている路線といえます。

現在の実績に合わせて目標値を再設定するということも考えましたが、コロナ以前は6,050人ほどの利用者がいたことから、コロナ以前の水準に回復させていきたいという思いもありまして、こういった目標設定となっております。

#### 4. その他

●福井運輸支局 五十嵐首席運輸企画専門官

1点目は、フルデマンド化に伴い停留所の新設移設があるかと思いますが、そちらについては、道路管理者や地権者、警察の方等と調整はとれているかの再度の確認です。

2点目は、北郷については、永平寺の越前竹原駅に乗り入れをするということで、永平寺町さんの管轄になるかと思いますが、そちらについては担当者間で調整がついているとお聞きしていますが、その部分についても間違いないかということで、教えていただきたいと思っています。

○事務局 廣田

新設移設のバス停に関しましては、警察や道路管理者等と協議させていただいております。交差点の近くですとか横断歩道の近くとかは避けるような形で、地元の方から要望のあったところから少し変更した形で設置することになると思います。

協議の方はこれからも引き続きさせていただきますが、今のところ問題なく整っております。

竹原駅の方については、担当者でお話しさせていただいておりますが、問題ないということで回答いただいておりますが、正式な文書で回答いただく予定となっております。